

空知教育センター課題研究 中間報告

「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方

(令和2～3年度 2年研究1年次)

【研究主題】「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方 ～自己の学びを振り返り、主体的な学びの実現を図る学習指導の充実～

【研究の経緯】

空知教育センターでは、次代を担う児童生徒に育まれるべき資質・能力の育成に向けた指導改善について研究を行ってきました。令和2年度から2ヶ年計画で、資質・能力の育成に向け、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した授業改善について探っていきます。

③ 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の推進

単元や題材など内容や時間のまとまりの中で、学習を見通し振り返る場面をどこに設定するか、(中略)を考え、実現を図っていくものであること。小・中学校学習指導要領解説 総則編 総説

【研究の重点1】

「振り返り」の視点を与える

▶ 「何を」振り返るのかを明確にする

【研究の重点2】

「振り返り」の有効的な活用

▶ 知識・技能の確実な定着、「見通し」での活用

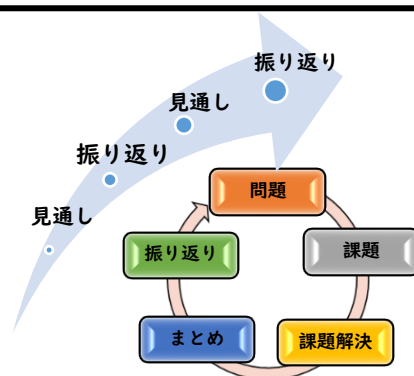
振り返り活動を通して学びのつながりを顕在化させたり、児童生徒一人一人が成長を感じたりしながら、主体的に学ぶことができる授業を目指します。単元や題材など内容や時間をまとまりとして意図的な振り返り活動を設定した授業を空知管内の先生方に提案できるよう、検証・研究を行っています。

【目指す子ども像】

- ・ 自己の学びを振り返り、学びの状況を把握して次の学習につなげようとする子ども

【研究仮説】

- ・ 振り返りの視点を与えることで、児童生徒がより効果的に学びを振り返ることができ、確かな学びにつなげることができるであろう。
- ・ 振り返りを活用する場面を設けることで、学びのつながりを実感し、主体的に学習に取り組む態度が培われるであろう。



【1年次の課題研究委員会の主な取り組み】

理論研修

- ・ 振り返りの視点や効果的な活用法に関わる実態交流や理論研修

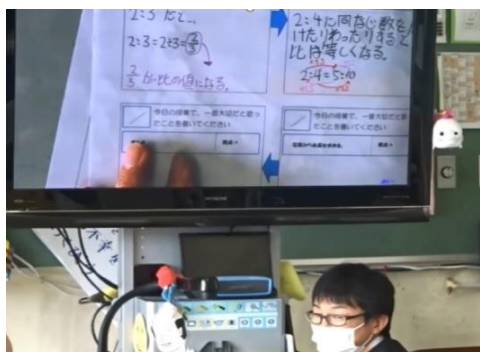
検証授業

- ・ 指導案検討
- ・ 滝川市立西小学校と深川市立一已中学校で検証授業

実践交流

- ・ 課題研究協力員による、視点を与えた記述の振り返りの実践や活用についての交流
- ・ 成果や課題の交流

実践① 滝川市立西小学校 第6学年 算数科「比」



導入場面で、これまでの振り返りシートを見せ、何を学んできたかを確認したり、これまでの振り返りシートを教室に掲示したりすることで、課題の見通しをもたせる工夫をした。振り返りの視点を4つ示し、その中から児童が選択し、学んだことを客観的に捉えさせたり、学びのつながりを意識したりすることをねらいとした。一枚の振り返りシートにすることで、単元をまとまりとした学習の積み重ねができた。

学習前

わかること・気づくことをたくさん書いてみよう。

1	2	3	4	5	6
2	4	6	8	10	12

時間のところも○にしたい、水の深さを△にする...? $\bigcirc \times \Delta$ になっている。
水の深さが2の倍数になっている。

9/1

今日の授業で、一番大切だと思ったことを書いてください

比例の規則性を知り理解する。 視点→②

きたた数は図を見て全部何を求めたか
ということを考えれば出る。 $y = x \times$ きたた数

9/3

今日の授業で、一番大切だと思ったことを書いてください

比例のグラフをかく。 視点→①

点を1つ2つ引いておぼえ線のつなげて時間短縮。
線は最後まど。

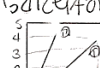


9/4

今日の授業で、一番大切だと思ったことを書いてください

比例のグラフを読み取る。 視点→①

グラフに2本線がはいりにも体のように考える。



9/1

今日の授業で、一番大切だと思ったことを書いてください

生活の中の比例の問題を解く。 視点

紙の重さ1まい全部の重さがかれは解ける。

学習中

9/11

今日の授業で、一番大切だと思ったことを書いてください

まどめ 視点→②



いさかたれだけ早いであつた。113のとき10分はれているがをいX。

9/6

今日の授業で、一番大切だと思ったことを書いてください

反比例のグラフをかく。 視点→①

なめらかに線を描く!!



9/9

今日の授業で、一番大切だと思ったことを書いてください

反比例の規則性を知り理解する。 視点→①

比例は...
 $y =$ きたた数 $\times x$
反比例は...
 $y =$ きたた数 $\div x$

9/8

今日の授業で、一番大切だと思ったことを書いてください

反比例の意味を理解する。 視点→①

反比例とは...?

1	2	3	4	5
24	12	8	6	4.5

とが2倍3倍にたつと5で7倍5倍となる。

学習後

わかること・気づくことをたくさん書いてみよう。

1	2	3	4	5	6
2	4	6	8	10	12

きたた数がわからぬは答えを求められるから
きたた数がたつと $y = 2 \times x$ となる。

13
5/65

「One Page Portfolio」という
単元を通した振り返りができるシ
ートを活用した。学習前後の変容
を見取ったり、毎時間の学びを形
成的評価により指導に生かしたり
することができた。

振り返りの視点

①何ができるようになったか。
(〇ができるようになった。)

②どんな考え方をしたら、課題が解けたのか。
(この問題は、△△と考えることでできる。)

③だれの考え方がわかりやすかったか。
(～さんが、◇◇という考え方を示していて、参考になった。)

④今日の学習がどんな場面に使えるぞうか。
(□□という知識は、生活で☆☆の場面に使えると思った。)

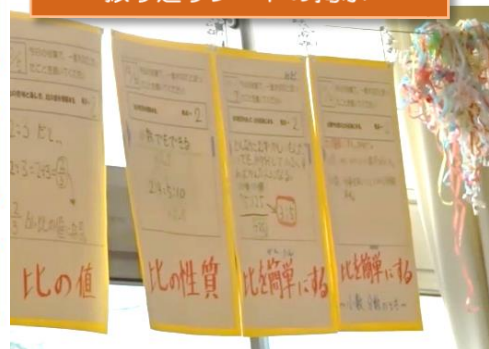
振り返りシートの掲示

[illegible]

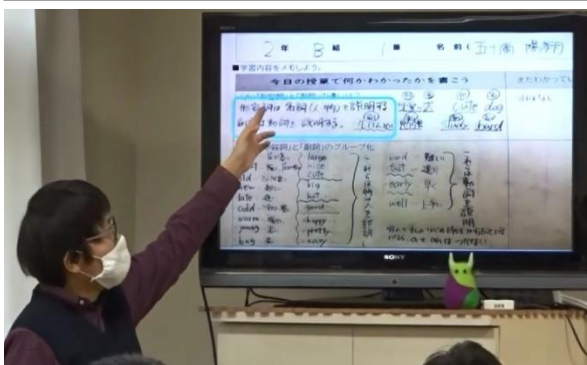
【どうして書く？】
振り返りを記述するよさ

【どうやって書く？】
感想にならないように、
視点を提示

【どうやって書く？】 グッドモデルの例示



実践② 深川市立一巳中学校 第2学年 英語科「比較級」



導入場面で、前時の振り返りシートにある個々の疑問を交流することで、関心を高める工夫をした。また、本時の学びの学習と関わる内容を記述している振り返りシートを取り上げることで、本時の学習の見通しをもたせた。振り返りの視点は3つ示し、「分かったこと」は必ず記入し、その他の欄については必要に応じて記述させた。記述内容から定着が不十分な部分については次時の指導に生かすことができた。

学習内容をメモしよう。

今日の授業で何かわかったかを書こう	まだわかっていないところ【問題でも可】	面白かった点【印象に残った言葉でも可】
(月)		
(火) 助動詞「may」、「shall」などの意味がわかった。また、助動詞の動詞の前におくや動詞は必ず原形というのわかった。		May I help you?で いらっしゃいませになるのが おもしろかった。
(水) 前置詞「in」と「by」と「at」の使い分けがわかった。同じ「at」という日本語でも意、意味によってちがうんだなと思った。	主語のない文章では全て主語がYouになるのか? (天気以外)	
(木) ～したいという意味の言葉でも丁寧な言い方とそれ以上とで「want to」と「I would like to」とで使い分けられるのがわかった。	～したい → 誰が? ↓ 私が	にこれの本を10年間もと続け けていたからしま すごいぞ 人にびっくりした。
(金) 「of」、「for」、「in」、「at」などの前置詞にもいろいろ意味があって使われているとわかった。		学力テストのセリ抜き? みたい なやつで少し変えるだけです。 たぐ意味が変わったものに なったこと。

一週間単位で記入する振り返りシートを活用した。学習で印象に残ったことや、疑問に思ったことを記入する欄を設け、生徒の思いに寄り添い、英語科の関心を高めることができた。また、内容によっては、学んだことを使って英文を書く場面を設定するなどして、学びを深める工夫をした。

振り返りの視点

①今日の授業でわかったこと

→何も見なくても、今日の授業で何を学んだのかを書くことができる。
☆低位：ノートを見ながら振り返ることができる。

②まだわかっていないところ

→生徒の疑問点に解説できる。あらためて図や表を用いて説明することで、より理解を促すことにつながった。

③おもしろかったところ（印象に残ったところ）

→生徒が何に関心を持ち、どのような授業を行っていくべきだったか反省できる。形成的評価として、授業改善に役立てることができた。

関心を高めるための視点

まだわかっていないところ【問題でも可】
混合トリプル田田 May I help you? ～したい ～したいもよい、～したい、～したいはなの? 助動詞英作文※10 will you take me to the zoo? takeのすぐ後にtoが ～したいのはなぜですか

【今年度の成果と課題】

【主な成果】

- 「まとめ」と区別した言葉による振り返りができた
- 学びを自分事にできた
- 興味・関心を引き出すツールとなった
- 生活と「学び」を結び付けられた
- 次の学びにつなげることができた

【主な課題】

- 視点を与えすぎると、自由な表現ができない
- 積み重ねた振り返りをどう生かすか
- 振り返り時間を確保するためのタイムマネジメント
- 評価への生かし方

【次年度に向けて】

【研究の方向性】

- 単元を通して積み重ねた振り返りの生かし方を探る。
- 教科による振り返り方の違いについて実践検証を通して深める。
- 「学び」と「生活」をつなげる振り返りの視点を与える。
- 指導と評価の一体化に向けた振り返りの在り方を探る。



発刊にあたって

平成から令和へと時代は進み、グローバル化が一層進展し Society5.0 が到来しようとする現代社会において、地球上に突如現れ、人類に多大な不安と混乱をもたらしたコロナウイルス感染症は一向に終息の気配を見せず、マスクを必要としない普通の生活がいつ戻って来るのか、全く予測できない状況となっています。

このように、先行き不透明な時代であるからこそ、未来を生きる子どもたちには、生涯にわたり「情報活用能力」を身に付け、主体的に判断し、様々な人々や社会と関わりながら課題を解決していくための力の育成が求められています。

平成29年3月に改訂された学習指導要領では、「何を学ぶか」ととどまらず、「なぜ学ぶのか」「どのように学ぶか」「学んだ結果、何ができるようになるのか」を重視する内容となっており、知識の理解の質を高め資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」の充実が重要となっています。

このため、空知教育センターでは、昨年度までの研究を発展・充実させるべく、今年度から、「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方 ～自己の学びを振り返り、主体的な学びの実現を図る学習指導の充実～ を研究主題と設定した2ヶ年の研究をスタートさせました。

また、研究推進においては、管内小中学校からご推薦いただいた意欲的な6名の課題研究協力員と担当所員により、「空知教育センター課題研究委員会」を組織し、研究実践を進めてまいりました。本年度は、コロナの影響で参加を予定していたミニ道研や北海道規模の公開研究会等が中止になるなど、様々な制約がある中での研究推進となりましたが、理論研究、検証授業、実践交流を中心に、「見通し」と「振り返り」をキーワードとして、論議を深めることができたと考えております。

このたび、1年間の取組を中間のまとめとしてリーフレットを作成しましたので、各学校の校内研修に、また、日々の実践の参考資料としていただければ幸いです。

結びに、本研究推進に際して意欲的・献身的に取り組まれた課題研究協力員の皆様、ご指導・ご助言をいただきました関係市町教育委員会、各学校の皆様に心より感謝とお礼を申しあげ、発刊にあたってのご挨拶とさせていただきます。

令和3年3月

空知教育センター所長 岩田 稔

令和2年度 空知教育センター 「確かな学力」課題研究委員会の構成員紹介

委員長	桑 島 誠	教諭	滝川市立関西中学校
副委員長	大津留 あい	教諭	砂川市立豊沼小学校
委員	池 端 健 二	教諭	滝川市立西小学校
//	平 川 慎 吾	教諭	新十津川町立新十津川小学校
//	小 野 治	教諭	新十津川町立新十津川中学校
//	中 島 悠 記	教諭	深川市立一已中学校
担当所員	西 條 亨	所員	滝川市立明苑中学校
//	辻 瞳	所員	赤平市立赤間小学校



活動の様子

空知教育センター課題研究 「確かな学力」の育成を図る学習指導の在り方 中間報告

発行日 令和3年3月30日

発行者 空知教育センター所長

所在地 滝川市文京町4丁目1番1号

TEL 0125-22-1371

FAX 0125-22-1372

Eメール kyosen@sorachi-ed.jp

URL <http://sorachi-ed.jp/>

令和3年度も感染症対策をしながら検証授業を行う予定です。日程等の詳細は、空知教育センターHP等でお知らせします。



空知教育センター

検索

